

Q&A 帯状疱疹： あなたが知っておくべきこと

2020年冬号
第4巻

帯状疱疹は水痘の原因と同じウイルスの再活性化によって発症する痛みを伴う疾患です。50歳以上の成人には、Shingrix®として知られる帯状疱疹ワクチンの2回接種が推奨されています。

Q. 帯状疱疹とはどんな病気ですか？

A. 帯状疱疹は水痘の原因と同じウイルスによる疾患で、実は過去の水痘感染の再活性化が原因です。多くの場合、高齢者や、免疫力が低下しているあらゆる年齢の人が発症します。一般的な症状は、体の片側に認める帯状の発疹であり、激しい痛みを伴います。痛みはしばしば、数か月から何年も続くことがあります。

Q. 帯状疱疹の発症率はどのくらいですか？

A. 米国では毎年、約100万人が帯状疱疹に罹患します。米国人の約3人に1人が生涯に1度、また85歳に達した人の約半数が1回以上、帯状疱疹を発症します。

Q. 帯状疱疹はどのようにして発症するのでしょうか？

A. 帯状疱疹は他者から移される疾患ではありません。水痘にかかったことのある人のみが帯状疱疹を発症する可能性があります。水痘ウイルスは何十年間も神経系に潜伏することができ、それが再活性化すると帯状疱疹が起きます。これは、一番多くが加齢、またAIDSウイルスやがん治療で使用される免疫抑制薬など他の原因による、免疫力の低下で生じることもあります。ほとんどの場合、帯状疱疹は、免疫力低下以外は健康上の問題がない成人において発症します。

Q. 帯状疱疹はどうやって予防しますか？

A. 水痘にかかったことのある人は、誰でも帯状疱疹を発症する可能性があります。帯状疱疹を予防する唯一の方法は帯状疱疹ワクチンを接種することです。

Q. 帯状疱疹は危険な疾患ですか？

A. はい。帯状疱疹で亡くなる人はほとんどいませんが、激しい苦痛を伴うことがあります。おそらく一番多い合併症は、体力を消耗させる長期にわたる持続性の痛みでしょう。痛みがあまり激しいため、不眠、鬱状態、体重減少、食欲低下などを引き起こしたり、着替え・入浴・食事などの基本的な日常活動の妨げにもなったりする場合があります。帯状疱疹による痛みは、成人が経験する最も激しいタイプの痛みのひとつであり、和らぐことがなく、残念ながら治療が不可能なことが多いです。帯状疱疹はまた、この疾患を持つ100人のうち約15人の割合で眼の周りの神経に影響を及ぼし、時には弱視や失明までも引き起こすこともあります。免疫が低下している人においては、帯状疱疹の原因である水痘ウイルスが同時に肝炎、肺炎、脳炎（脳への感染）を引き起こすこともあります。また、帯状疱疹の発疹部位に痕が残ったり、合併する細菌感染症が起こる場合もあります。

Q. 帯状疱疹は伝染しますか？

A. はい。帯状疱疹を発症した人が他の人に帯状疱疹を移すことはありませんが、発疹への直接接触により、他の人に水痘帯状疱疹ウイルスを伝播する可能性があります。例えば、水痘にかかったことがなくワクチン接種歴もない、帯状疱疹発症者のお孫さん達は、ウイルスに感染し水痘を発症する可能性があります。発疹が現れる前か、あるいは発疹がかさぶたになっている場合は、感染の可能性は低いです。また、発疹が被覆材や衣服で覆われていれば感染拡大のリスクは軽減されます。

続く

Q&A 帯状疱疹： あなたが知っておくべきこと

Q. 帯状疱疹ワクチンはどのように製造されていますか？

A. Shingrix帯状疱疹ワクチンは、ウイルスの表面から glycoprotein E と呼ばれるタンパク質を分離し、それを免疫反応増強のためのアジュバント2種類、QS21 および monophosphoryl lipid A と混合して作製されます。QS21 は、シャボンノキ (キラヤ科) の樹皮から分離された石鹸由来の分子です。Monophosphoryl lipid A は一般細菌の表面に認められる、解毒された形態のリポ多糖です。

第2の帯状疱疹ワクチンとして知られている Zostavax[®] は、2006年から2019年まで使用可能でした。このワクチンは、子供達が受けている水痘ワクチンをより高濃度にしたものでした。子供用水痘ワクチンと同様、Zostavax は弱毒生水痘ウイルスの一形態でした。帯状疱疹ワクチンは水痘ワクチンの約14倍の弱毒生水痘ウイルスを含んでいました。既に水痘罹患歴がある人において防御反応を誘導するためには、このウイルス量が必要でした。

Q. 帯状疱疹ワクチンは有効ですか？

A. はい。Shingrix は、ほぼ100%の人を帯状疱疹による皮疹の発症から、また約90%の人を帯状疱疹に関連する持続性の痛みの発症から保護しました。

Q. 誰が帯状疱疹ワクチンの接種を受けるべきですか？

A. 50歳以上の成人は、帯状疱疹ワクチンを2~6か月間隔をあけて2回接種するべきです。

Q. 帯状疱疹ワクチンは安全ですか？

A. はい。一般的な副作用としては、接種部位の発赤・疼痛、腫れ、疲労感、発熱、頭痛、体の痛み、痛み、寒気などがあります。

Q. 既に帯状疱疹の既往がある場合であっても、帯状疱疹ワクチンの接種を受けるべきですか？

A. はい。過去に帯状疱疹を発症していても、帯状疱疹の再発が防止されることはありません。

Q. 過去に Zostavax ワクチンの接種歴があっても、Shingrix を接種するべきですか？

A. はい。Shingrix は帯状疱疹からより多くの人々を保護するので、Zostavax の接種歴があっても Shingrix を接種することが推奨されます。

Q. 帯状疱疹ワクチンを受けた後、乳幼児の孫との接触を避ける必要がありますか？

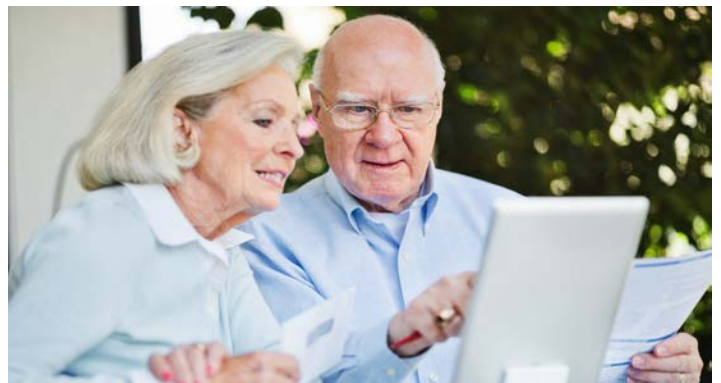
A. いいえ。Zostavax ワクチンを接種した後には、発疹が出現することがありました。その場合、ワクチン未接種のお子さんは水疱と接触しないようにしなければなりません。Shingrix は弱毒生水痘ウイルスワクチンではないので、複製されず、発疹は生じません。そのため Shingrix を接種した人が他の人にウイルスを拡げることはありません。

Q. 帯状疱疹ワクチン接種はどこで受けられますか？

A. 初めに、あなたのかかりつけ医に相談してください。かかりつけ医のところで受けられない場合は、多くの薬局で成人用ワクチンを取り扱っていますので、行きつけの薬局で相談してください。

Q. 帯状疱疹ワクチンの費用は保険の対象になるでしょうか？

A. 保険プランはそれぞれ大幅に異なるので、加入している保険会社に電話で問い合わせ、あなたのプランでこのワクチンが対象になっているかを確認する必要があります。また、保険対象外の追加料金が請求される場合があるので、接種を受ける医院か薬局に相談してください。



この情報は Children's Hospital of Philadelphia の Vaccine Education Center によって提供されています。当センターは親御様や医療専門家の方々のための教育情報源であり、感染症の研究および防止に注力する科学者や医師、および親御様から構成されています。Vaccine Education Center は Children's Hospital of Philadelphia の基金教授陣によって資金提供されています。当センターは製薬会社からの援助を受けていません。The Center gratefully acknowledges Yukitsugu Nakamura, Hiroyuki Aiba, Tomohiro Katsuta for translation of this information. ©2020 Children's Hospital of Philadelphia. 無断複写・転載を禁じます。19099-11-19.